

第 1816 圖

もやうびゆ

Telanthera Bettzickiana Regel.

明治年間ニ渡來セル南米ぶらじ原産ノ一年生草本ニシテ今ハ花壇裝飾用ノ觀賞品トシテ諸處ノ庭園ニ愛植セラル。莖高さ20cm内外、伏毛ヲ有シ、多クノ枝ヲ分チテ密簇シ其節膨脹ス。葉ハ小ニシテ對生シ、筒形ニシテ尖リ、下ハ漸次ニ長キ葉柄ト成ル、全邊ニシテ葉色淡黄ヨリ赤色ニ至ルマデ多様ノ變色アリテ美觀ヲ呈セリ。夏秋ノ候葉腋ニ白色ノ小花聚リ着キ、五萼片アリテ花瓣無シ。雄蕊ハ花絲聯合シテ長キ筒ヲ成シ、五葯ト五假雄蕊體トヲ有ス。胞果ハ一種子ヲ有シ、開裂セズ。園藝家ハ時ニ之レヲあきらんでオト稱スレドモ非ナリ。和名模樣草ハ其種々ノ色ヲ呈セル葉ニ基キテ命名セルモノナリ、草ハ此類ヒユト同科タルノ縁アルヲ以テ名ケシナリ。



ヒ
ユ
科

第 1817 圖

つるのげいとう (満天星)

一名 ほしのげいとう

Alternanthera sessilis R. Br.

廣ク熱帯地方ニ分布シ、琉球・臺灣等ニハ自生シ、今内地ニ在テハ時ニ野生ノ状態ヲ呈スルコトアル一年生草本ニシテ質軟ナリ。莖ハ瘦長ナル圓柱形ニシテ疎ニ分枝シ地上ニ横臥シテ長サ40cm許ニ達シ、上部ニハ二列ヲ成シテ毛茸ヲ有ス。葉ハ對生シ、略ボ無柄、長橢圓形或ハ倒披針形ニシテ鈍頭、基部狹窄シ全邊ニシテ長サ2-5cm許。夏秋ノ候葉腋ニ略ボ球狀ヲ成セル數箇ノ頭狀花序ヲ着ケ、白色ノ小花ヲ攢簇ス。小苞ハ小形。萼ハ五片ニシテ小苞ニ比スレバ二、三倍長、卵狀披針形ニシテ鈍頭ナリ。三雄蕊アリテ花絲ハ短ク、葯ハ卵形。假雄蕊三箇アリ。胞果ハ倒心形ニシテ稍扁平ナリ。和名ハ蔓野鷄頭ノ意ニシテのげいとうト同科タルノ縁アリ且其莖長ク蔓狀ニ引クヲ以テテスク云フ、星野鷄頭ハ其花相集リテ小頭狀ヲ成シ莖上ニ點在スルヨリ之レヲ天ノ星ニ擬シテ名ケシナリ。



ヒ
ユ
科

第 1818 圖

あのかづち (牛膝)

古名 ふしだか・こまのひざ

Achyranthes japonica Nakai.

(= *A. bidentata* Blume

var. *japonica* Miq.)

山野路傍到ル處ニ普通ナル多年生草本。根ハ粗ナル鬚狀ヲ成ス。莖ハ粗大方形ニシテ剛ク高さ90cmニ達シ、對生セル枝ヲ分チテ節高シ。葉ハ對生シ有柄、橢圓形ニシテ鈍尖頭楔狀底、毛ヲ散生シ、長サ5-15cm許。夏秋ノ間莖頂並ニ葉腋ニ細長ナル花軸ヲ出シ、穗狀花序ヲ成シテ綠色ノ小花ヲ着ケ本ヨリ末ニ開キ上リ。花後ハ花體漸次ニ反曲ス。花下ニ三片ノ苞アリテ先端刺狀ヲ呈シ、其二片ハ基部ニ膜質廣卵形ノ突起ヲ具フ。萼ハ五片ニシテ大小不同、披針形ニシテ長サ4-5mm許、外側ノ者ハ先端鋭ク尖ル。五雄蕊アリテ花絲ノ基部合體シ、花絲間ニ短キ突起ヲ有ス。一雌蕊アリテ橢圓形子房ノ頂ニ一花柱アリ。胞果ハ長橢圓形ニシテ閉合セル宿存萼中ニ在リ、長橢圓形ニシテ花柱遺在シ、中ニ一種子アリ。果時ノ花體ハ容易ニ花軸ヲ離レテ能ク衣服等ニ附着シ易キ特徴アリ。根ヲ牛膝根ト稱シテ藥用トス。其支那産品ハ或ハ多分別種乎。和名ハ蓋シ家健ノ意ニシテ多分其節高キ莖ヲあのかづちノ脚ノ膝頭ニ擬シテテスク謂ヒシナラン乎、古名駒ノ膝ノ名參照スベシ。



ヒ
ユ
科

やなぎるのかづち

Achyranthes longifolia Makino.

通常山陰ノ林側若クハ林下ニ生ズル多年生草本ニシテ根ハ肥厚セリ。莖ハ直立シ高さ90cm許ニ達シ、對生シテ張出撒開セル長枝極フ分チ、綠色ニシテ四稜ヲ成シ節頗ル高シ。葉ハ對生シテ葉柄ヲ有シ、披針形又ハ廣披針形ニシテ鋭尖頭ヲ有シ狭底全邊ニシテ毛ヲ散生シ、葉質厚カラズ稍軟カニシテ葉面滑澤ナリ。夏秋ノ候莖頂並ニ葉腋ニ細長ナル花軸ヲ出シ、瘦長ナル穗狀花序ヲ成シテ綠色ノ小花ヲ多數ニ着ケ本ヨリ末ニ開キ上リ、花後ハ花體漸次ニ下曲ス殊態アリ。花下ニ三片ノ苞アリテ刺狀ニ尖リ、其二片ハ卵形ヲ成セル他ノ一片ヨリ長クシテ基部ノ一側ニ擴張セル耳片アリ。萼ハ五片、廣鏡形ニシテ尖ル。五雄蕊アリテ萼ヨリ短ク、花絲ノ基部ハ相合シテ杯形ヲ呈ス。一雌蕊アリテ子房ハ倒卵狀球形ヲ成シ一花柱アリ。胞果ハ閉合セル宿存萼ノ中ニ在リテ橢圓形ヲ成シ一種子ヲ藏ス。和名ハ柳牛膝ノ意ニシテ其葉柳葉狀ヲ呈スルヨリ云フ。



ヒ
ユ
科

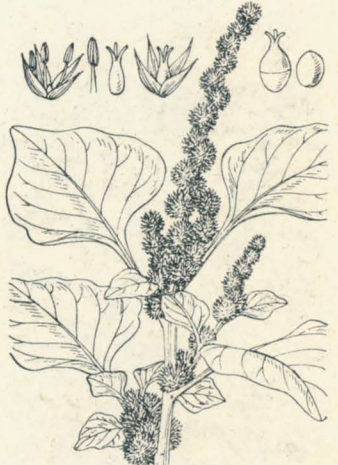
第 1819 圖

ひゆ (莧)

一名 ひやう・ひやうな

Amaranthus inamoenus Willd.

舊ク我邦ニ入リシ暖地方面ノ原産ノ一年生草本ニシテ圃地ニ培養セラル。莖ハ直立シテ疎ニ分枝シテ綠色ニシテ高さ1.7m許ニ及ブ。葉ハ互生シテ長柄ヲ有シ、菱狀卵形ニシテ鈍頭微凹端ヲ成シ基部ハ廣楔形ヲ呈シ全邊ナリ。葉ハ綠色ナルヲ普通品トシ又紅色品(あかびゆ)・暗紫品(むらさきびゆ)・紫斑品(はなびゆ)アリ。夏秋ノ時節、莖頂並ニ葉腋ニ綠色ノ細花ヲ攢簇シテ略ボ球狀ヲ呈シ莖頂ノ者ハ之レヲ以テ穗ヲ成スニ至ル。苞ハ先端芒狀ヲ成シ、萼片ト稍同長ナリ。萼三片、披針形ニシテ膜質、先端芒狀ヲ成ス。三雄蕊。一雌蕊。蓋果ハ橢圓形ニシテ宿存セル萼片ヨリ短ク、膜質ニシテ横ニ開裂シ上半帽狀ニ脱落シ、中ニ一種子ヲ入ル。種子ハ黒褐色ニシテ滑澤ナリ。葉ヲ採テ蔬トナシ食フ。和名ヒユハ冷ユル義ニテ此莧ノ性寒ナレバ云フト謂ヘリ、是レ果シテ眞乎未詳ナリ。



ヒ
ユ
科

第 1820 圖

いぬびゆ (野莧)

Amaranthus Blitum L.

(= *Euxolus Blitum* Grenier.)

圃地・路傍等ニ普通ナル一年生草本ニシテ全草柔軟ナリ。莖ハ高さ30cm内外、概ネ基部ヨリ分枝シテ斜上シ、枝ハ直立シ無毛ナリ、綠色ニシテ往々褐紫色ヲ帶ブ。葉ハ互生シテ長柄ヲ有シ、菱狀卵形ニシテ先端凹頭底部楔形ヲ成シ、長サ1-5cm許アリ。夏秋ノ候、梢上並ニ葉腋ニ多數ノ綠色細花ヲ攢簇シ、莖頂ノ者ハ通常一ノ花穗ヲ形成ス。苞ハ卵形鋭頭ニシテ膜質、萼ヨリ短シ。萼ハ三片、長橢圓形或ハ筒形ヲ成シ、長サ1.5mm許。三雄蕊。一雌蕊。胞果ハ菱狀橢圓形ヲ呈シ、宿存セル萼ヨリ長ク其下半部ニ皺ヲ有シ横ニ開裂セズ、内ニ略ボ球形ノ一種子ヲ藏ス。元來雜草ナレドモ其葉ヲ食用ト成ス處アリ。和名ハ犬莧ノ意ナリ、食菜ノ莧ニ類シテ野生シ通常人間ノ用ヲ爲サズ雜草ユエスク云フ。



ヒ
ユ
科

第 1821 圖